



南風の丘から

進んで学び 思いやりのある たくましい子を育てる

校長 雪野正三



新年明けまして おめでとうござります

穏やかに、令和五二〇二三年が始まりました。皆様、新年の幕開けを、いかがお過ごしだったでしょうか。元日の朝の初日の出は、やや雲がかかっていたはいましたが、清々しく、美しかったですね。

三学期始業式の今日、野田小学校も新たにスタートしました。リモートでの始業式となりましたが、子どもたちの元気そうな顔を、モニター越しに見られて嬉しかったです。

昨年末には、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大と、インフルエンザの流行期入りが報道された。三学期の始まりを落ち着いて迎えられるか、大変心配していました。

「野田小学校だより」25号、学年最後の、まとめの三学期を、職員一同で子供たちを支え、伸ばして、次学年へと小進級・進学させたいと思います。ご協力、よろしくお願いたします。

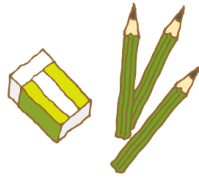


物は大事に使いたい

新年、また、三学期の始まりにあたって、学習用具・文房具を新調したお子さんもいるでしょう。お子さんの物の使い方、扱い方について聞いてみましょう。

自分が小学生だった頃のことですが、買ってもらった文房具にはすぐに名前を書いていました。年の近い兄と弟がいたこともあり、自分の物がすぐに区別できるようにしたからです。

おかげで、学校で誤ってどこかで落としても、記名があったので自分のもとへ戻ってきました。



学校で、記名のない落し物を見かけると心が痛みます。名前が書いてあればな…。物は大事に使いたいです。

児童代表の発表

始業式では、三人の児童が、それぞれの学年を代表して、三学期の抱負を述べました。

リモートでの始業式で、いつもとは違った雰囲気の中で、堂々とした態度で発表しました。三人の作文を紹介します。

がんばる三学期

二年 林田 直や

ぼくが、三学期にがんばることは、三つあります。

一つ目は、なわとびです。二じゆうとびを十回以上とべるようになります。家で、なわとびのれんしゅうをつづきたいです。

二つ目は、けっせきゼロです。一年生から一回も、学校を休んでいないので、がんばりたいと思います。

三つ目は、漢字けんていと英語けんていに合格することです。英語は車の中でCDを聞いたり、漢字は、

分からないのだけカードに書いたり、ノートに自学でやったりします。

三つのことができるように、がんばりたいです。



三学期がんばりたいこと

四年 松本 駆

ぼくは、三学期にがんばりたいことがあります。それは、なわとび大会です。なわとび大会で一位になりたいです。

もうすぐ、なわとび大会があるので、なわとびの練習をがんばりたいです。全



いんどびで、あんまりひっかからないように練習したいです。8の字とびも、連続でたくさん練習したいです。

次に、ぼくががんばりたいことは、書きぞめ大会です。ぼくは、あんまりしゅう字はとくいじゃないけど、練習のせいかを出して、上手に書きたいです。ぼくが書く字は、「美しい空」です。

ぼくは、「美しい」が上手に書けないので、いっぱい字の練習をしました。

なわとび大会と書きぞめ大会をがんばって、三学期は体力をつけて、きれいな字が書けるようになりたいです。



悔いのない小学校生活にするために

六年 林田 爽

三学期が始まりました。残り少ない小学校生活になりました。

ぼくのためには、「言行一致」です。「言行一致」とは、自分が言ったこととすることを一致させることです。

三学期にがんばりたいことは、発表です。一学期も自分から手を挙げて、発表をがんばりました。だから、三学期も続けた

いです。

あと一つ、がんばりたいことは、困っている人がいたら、助けたりやさしく声をかけたりのすることです。

六年生として、みんなに言ったことは、実行していきたいです。悔いのないように最後までがんばります。



始業式での話 (校長から)

新年明けましておめでとうございます。年の始まりは、「今年もたくさん良い事がありそう」、そんな幸せな気持ちにしてくれる、よいお天気が続きました。

ところで、今日から三学期。皆さんが学校に登校するのは何日か、数えましたか。たった52日です。六年生は48日です。では、そんな三学期を、皆さんは、どのように過ごしたらいいのでしょうか。

そうです。一日一日を、大切に過ごすのです。どの学年も、これから三学期のめあてや目標を決めると思いますが、その時、「自分は、何をどれくらいがんばるのか、しなければならぬのか」を、じっくりと考えてください。

ほめられる=みつめられる

年末年始、子供たちは何かしら家の手伝いをしたかと思えます。役に立ってもそうではなくても、「ありがとう。とっても助かった!」と、親から労いの一言があると、子は嬉しいものです。

「ほめられる」は、子供にとって「みつめられる」なのです。自分は必要とされている、誰かの役に立てる力があることを改めて感じ、充実感や満足感を味わいます。これは、次の行動への原動力となる、大事な体験・経験です。

特に、五年生の皆さんには、本当に、一日一日を大切に過ごしてほしいです。それは、あなたたちが、三カ月後の四月から、野田小の最高学年として、すぐに動き出さなければならぬからです。その準備を、この三学期中に必ず済ませてください。

六年生の皆さん、今日から卒業式の日まで、野田小の最高学年として、挨拶も勉強も、運動も、委員会の仕事も、最後の最後まで精一杯がんばってください。下級生の手本となってください。

最後に、野田小のみんなが、健康で元気に毎日過ごし、「ああ、楽しかったあ」と満足して、三学期を締めくくることができることを心から願っています。